

トヨタ エスティマハイブリッド 「ドリームリレー・ムービー by CREATE THE FUTURE PROJECT」 子どもたちの想像力をつないで、映画に！！ ワークショップから壮大な物語が今はじまる。

トヨタ エスティマハイブリッドが5月7日から展開している新プロジェクト「ドリームリレー・ムービー by CREATE THE FUTURE PROJECT」。その一環として、第1回物語づくりワークショップが5月19日(日)、品川エトワール女子高等学校(東京都品川区)にて開催されました。

本ワークショップは、プロジェクトサイトに投稿された絵やCMキャラクターをもとに、全国の子どもたちが想像力をつないで物語をつくり、映画化を目指すもの。当日は小学校3~6年生の子どもたち27名が参加しました。

「わ!」「え!」「気になる!」をキーワードに「物語の種」を考えるワークショップがスタート。途中から物語を映像化する、田中裕介監督等も参加し、「アイデアの逆を考えてみては?」等とアドバイスする場面も。そこには子どもたちの笑顔の中にも真剣な眼差しが見えた。

その後は100V/1500Wの家庭用電源を持つエスティマハイブリッドの電力を使って、プロジェクトサイトで世界中から集まった1,500以上のキャラクターをプリントアウトし、子どもたちは大興奮。そのキャラたちを使ってつくった物語の絵コンテを作成し、みんなの前で発表しました。



「キャンディちょうちょを食べたなぞのドライバーがピエロになりました。」「未来から来た、まじよと、なぞのドライバーが、まほうをまちがえて、子どもだけの世界を作ってしまった。」等、時空を超えた奇想天外な物語が披露されるたびに、会場は笑顔と歓声に包まれました。最後に、子どもたちが描いたコンテはこれから映像化していく監督に手渡され、みんなで記念撮影して終了。エスティマハイブリッドの隣で、またひとつみんなの可能性がカタチになりました。

※このワークショップで作られた物語の映像は、6月下旬にプロジェクトサイト(<http://createthefuture.jp/>)にて公開を予定しております。あわせて次回「第2回物語づくりワークショップ」は7月7日(日)に福岡にて実施を予定です。現在も次回のワークショップに向けた、キャラクター等をプロジェクトサイトにて募集中ですので、是非この機会ご投稿ください。

※また、ワークショップ当日の様子はプロジェクトサイトのブログ(<http://blog.createthefuture.jp/>)にて詳細レポートを5月下旬に公開予定です。

【「第1回物語づくりワークショップ」について】

・実施日／会場：2013年5月19日(日)／品川エトワール女子高等学校(東京都品川区)

・参加人数：27名(小学校3～6年生)

・プログラム

- 09:30 受付開始
- 10:00 オープニング
- 10:50 物語づくり(面白い出来事を考える)
- 11:50 ランチ休憩
- 12:45 物語づくり(キャラを選んで物語をすすめる)
- 14:50 物語を絵にまとめる
- 15:55 各グループごとに絵と物語を発表する
- 16:55 集合写真撮影
- 17:00 総評・修了証授与
- 17:20 エンディング

【参考資料 — ドリームリレー・ムービー by CREATE THE FUTURE PROJECT — 】

《プロジェクト概要》

- プロジェクト名称 :ドリームリレー・ムービー by CREATE THE FUTURE PROJECT
- プロジェクトサイト :<http://createthefuture.jp>
- WEB での取り組み :全国の子どもたちから、キャラクターの絵やセリフを募集。
- ワークショップでの取り組み :全国 4 か所で開催。子どもたちがアイデアを出し合い、プロジェクトサイトに投稿された絵を使って、物語をつくっていきます。
- 物語は田中裕介監督をはじめとする映像チームによって映像化。プロジェクトサイトで公開予定。
- 全 4 回のワークショップで生まれた映像を一つにつなげた映画「ドリームリレー・ムービー(仮称)」は今秋完成予定。完成披露試写会は同時期都内にて、2014 年 2 月には、「ゆうぱり国際ファンタスティック映画祭」でも上映を予定しています。

《プロジェクトにかける思い》

「可能性」や「未来」をコンセプトに開発を重ね、多くのご家族に支持をいただいていたトヨタ エスティマハイブリッドにとって、子どもは特別な存在であり、いわば未来の象徴です。これから未来をつくる子どもたちの可能性を応援したいという思いから、クルマという枠を飛び出して、これまで様々な知育活動を実施して参りました。

2010 年『PhoneBook いちばんのおしごと』では、インタラクティブな知育絵本を通して、仕事に対する好奇心を育むきっかけをつくり、2011 年の『Charge the Future Project』ではエスティマハイブリッドの電源を使い、「未来へ向かうみんなの気持ち」を応援しました。さらに 2012 年の『CREATE THE FUTURE PROJECT』では、金環日食を通常であれば見られない地域の子どもたちにエスティマハイブリッドの電源を使用し届ける等、3つのアクションを通して、様々な可能性をカタチにするプロジェクトを実現。みんなが社会とつながる体験を通して、未来への可能性を広げる「ソーシャル体験型ブランディング」を行って参りました。

2013 年の「ドリームリレー・ムービー by CREATE THE FUTURE PROJECT」もその流れをくむものです。インターネットや SNS が普及し、世界中の人たちと簡単につながることができる時代になった一方、子どもたちに正しい活用法やそこで生まれる無限の可能性を教える環境はまだまだ多くありません。このプロジェクトは、子どもたちが時間や空間をこえてアイデアを持ち寄り、一つの映画「ドリームリレー・ムービー(仮称)」をつくることで、つながることの可能性を学ぶきっかけを提供することを目指しています。新しいものづくりのカタチを体験できるこのスタイルを、私たちは「ソーシャル知育」と名付け、取り組んで参ります。

トヨタのものづくりは、一人の手によってつくられるものではありません。さまざまな人たちがつながりあって、はじめてカタチになるものです。子どもたちをとりまく環境や教育に関するニュースも多く、さまざまな問題が指摘される昨今だからこそ、このプロジェクトを通して、未来を生きる子どもたちに様々なアイデアがつながることのワクワク感、そこから広がるものづくりの無限の可能性を少しでも感じてもらえればと思っております。

《専門家の声》

本プロジェクトの取り組みについて、デジタルや教育の見地から、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授であり CANVAS 副理事長でもある中村伊知哉先生にご意見をいただきましたので、ご紹介いたします。

過去 15 年で急速に進んだ情報化・デジタル化の流れは、今後も加速していくと見込まれます。そして情報社会で求められるのは、コミュニケーション力や創造力。デジタルはそれに大きく寄与します。『楽しい(自分でつくることによって創造力・表現力が高まる)』『つながる(コミュニケーションが生まれる)』『便利(勉強の効率化が図れる)』という利点があるのです。もちろんアナログやリアルと程よく組み合わせることも大切です。

その点では、このプロジェクトは時代の潮流に合った新しい取り組みと言えます。子どもたちが友達とどうコミュニケーションし、創造力を発揮するのか。大変に興味深いですね。

中村 伊知哉(なかむら いちや)



慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授

CANVAS 副理事長

- 1961 年生。京都大学経済学部卒。慶應義塾大学で博士号取得(政策・メディア)。
- 1998 年 MIT メディアラボ客員教授。2002 年 スタンフォード日本センター研究所長。
- 2006 年より慶應義塾大学教授。

※コンテンツ強化専門調査会会長、文化審議会著作権分科会専門委員などの委員を務める。デジタルサイネージコンソーシアム理事長、デジタル教科書教材協議会事務局長などを多数兼務。著書に『中村伊知哉の新世紀 IT ビジネス進化論』(ディスカバリートゥエンティワン)、『デジタル教科書革命』(ソフトバンククリエイティブ、共著)、『デジタルのおもちゃ箱』(NTT 出版)など多数。

《取り組み内容の詳細》

本プロジェクトは、WEB とワークショップをつなげて展開して参ります。

◆トヨタ エスティマハイブリッド『ドリームリレー・ムービー by CREATE THE FUTURE PROJECT』プロジェクトサイト

◇<http://createthefuture.jp>

◇「キャラ・アイテムをつくる!」「セリフをつくる!」機能を備え、全国の子どもたちから絵やセリフを募集。

5/19 時点で 1,500 点以上の作品が集まっています。

◇Twitter や Facebook を使って、投稿を友人・知人に知らせることができます。

◇ワークショップでできた物語、および映像化された作品なども発表予定です。

◇ワークショップ当日の様子や、映画完成までの制作過程は本プロジェクトサイトのブログ「制作日記」で随時公開してまいります。子どもたちが元気に物語をつくる様子やその物語を大人のプロチームが知恵を絞って映像化するプロセスをご覧くださいませ。(<http://blog.createthefuture.jp>)

「キャラ・アイテムをつくる!」



「セリフをつくる!」



◆物語づくりワークショップ supported by トヨタ エスティマハイブリッド&NPO 法人 CANVAS

◇小学校 3~6 年生を対象に、25~30 名規模のワークショップを開催。グループワークでアイデアを出し合い、プロジェクトサイトに投稿された絵を使い、一つの物語をつくりあげていきます。

◇開催は全 4 回、下記の日程・会場で予定しております。

5/19(日)東京(終了) 7/7(日)福岡 8/3(土)金沢 8/25(日)夕張

会場および応募方法は随時プロジェクトサイトでお知らせいたします。



◆物語の映像化。

◇ワークショップで子どもたちが考えた物語は、田中裕介監督をはじめとする映像チームによって映像化。ワークショップ全 4 回分の映像を一つにつなげて、映画化いたします。

◇完成した映画は、今秋都内にて完成披露試写会を予定しており、2014 年の「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭」にて上映を予定しております。

◇なお、本日のワークショップで作成された物語は、6 月下旬に完成予定。プロジェクトサイトにてご紹介してまいります。第二回以降も随時プロジェクトサイトにて公開予定です。

※上記内容およびスケジュールは変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

《田中監督プロフィール》

1978年／神奈川県生まれ 多摩美術大学グラフィック科卒。

2007年よりCAVIAR所属。秀逸なデザインセンスと映像制作のスキルに遊び心を加味した独創性を武器に、広告映像界で活躍するクリエイター。2011年に制作したサカナクション「バッハの旋律を夜に聴いたせいです。」のミュージックビデオで、「MVA - SPACE SHOWER MUSIC VIDEO AWARDS」のベスト・ビデオ・オブ・ザ・イヤーを獲得するなど、いま最も勢いのある映像作家のひとり。グラフィックデザインのマナーを基盤とする優れた画面構成、時に奇抜とも取れる斬新な設定や演出などを特徴に、作品ごとに柔軟にアプローチを変えながら、常に見る者を魅了するその手腕は、ミュージックビデオやCMをはじめ、各界から絶大な信頼を獲得している。

《NPO 法人 CANVAS プロフィール》

「子ども向け参加型創造・表現活動の全国普及・国際交流を推進するNPO」として、政府やマルチメディア振興センターの支援のもと、2002年11月に設立。「子どものための創造の場と表現の場を提供し、豊かな発想を養う土壌を育てる。」という目標に向けて、国内外の団体・人と新しいネットワークを形成し、世界規模で活動。

主にワークショップを中心とした「こどもたちの活動の場」の提供とその活動の普及に従事。各地でワークショップの活動をしている個人や学校教育関係者、博物館関係者、アーティスト、関連企業、地方自治体など、さまざまな分野の方々と連携した活動を展開している。

《トヨタ エスティマハイブリッドについて》



エスティマは、1990年に誕生以来、時代の一步先を行くクルマでありつづけてきました。未来的、先進的、スタイリッシュ、豊かな時間空間など、常に新しいクルマの価値を追求し続け、“トヨタの天才タマゴ”と称した流線型的な外形フォルムと高次元に両立させた広い室内空間や床下格納シートによる多彩なシートアレンジは、クルマの価値観さえも大きく変えました。エスティマハイブリッドは、そのエスティマのハイブリッドモデルとして登場しました。ハイブリ

ッド特有の大容量の電気エネルギーにより、AC100V最大1500Wもの電力供給が可能なアクセサリコンセントを装備しており、2011年3月11日に発生した東日本大震災においては、電源確保用の緊急発電機としてその発電能力を発揮しました。そしてこの度、5月7日よりスタイリッシュな専用のブラックシートと上質感を高めるブラックの加飾の「プレミアムエディション」を特別仕様車として発売します。